

アジア鑄造技術史学会 2024 東京大会 研究発表概要集 投稿・執筆要項

2024年3月15日
2024東京大会実行委員会

アジア鑄造技術史学会研究発表概要集投稿要項は、各大会の実行委員会が前大会を参考に定める。以下は、2024東京大会の概要集投稿執筆要項である。

1. 発表・投稿資格

原則として発表者・投稿者はアジア鑄造技術史学会会員とする。連名の場合は1名以上の会員を必要とする。

2. 発表・原稿の内容

- (1) アジアおよびアフリカ、ヨーロッパなどの周辺地域を含む、鑄造技術史もしくは関連する分野の学術の発展に広く寄与する研究および資料。
- (2) 発表の種類は「口頭発表」と「WEB発表」とし、**いずれも発表言語は不問。ただし、題目と要旨英語は必須、PPT発表は内容の英訳、少なくとも提示文字データの英語並記を必須とする。なお、ChatGPTやDeepLなどの英訳ソフトの使用可。その使用も難しい場合は実行委員会に相談ください。**
- (3) 概要集への掲載以前に公開刊行物に発表される可能性がないもの。

3. 原稿の書式

- (1) 概要集の本文は母語等を使用し、**口頭発表はA4判で上限 4頁、WEB発表はA4判で上限 2頁。**この頁数の中に英文による題目・著者名・キーワード・要旨（300語以内）を入れる。英文本文の場合は母語で要旨を挿入する。規定を超える頁数は認めない。
※ワード等で作成した「査読用原稿」をPDFデータに変換する。
※エントリ者には、原稿のレイアウト見本（原稿作例（東京））を、送るので、それを参考に作成すること。
- (2) 発表は発表者の母語もしくは英語等とする。
- (3) 概要集の版面は縦250.1mm×横165.4mm程度。
- (4) 本文は、1頁あたり2,352字（1段組み・49字×50行）で、天地は約23mm、左右は約22mmとする。推奨フォント・ポイントは、MS明朝、10pt。なお、編集時に若干変更する場合がある。
- (5) タイトルは、副題の有無に拘わらず2行以下。
- (6) 著者名・所属は各1行で2行を使用。
- (7) キーワードは8語以内で1行に収める。所属との間を1行空ける。
- (8) 本文はキーワードとの間を1行空ける。章立て等の記述方法は任意。
- (9) 文献・註は文末にまとめる。文献には「著者名」「表題」「掲載誌名」「巻号」「発行年」を記す。詳細は任意。
- (10) 写真・図版等は出典を記載する。記載方法は任意。
- (11) モノクロで印刷する。

4. 査読用原稿の提出

- (1) **「査読用原稿」のPDFは、2024年 6月3日 までに吉田広に提出する。**
- (2) 原稿（図・表などをレイアウトした「査読用完成原稿のPDF」）は下記のデータをE-mailか郵送等で送付する。
- (3) 提出先
日本・中国・韓国支部・その他会員⇒ 吉田広 yoshida.hiroshi.mz@ehime-u.ac.jp

5. 査読

原稿は書かれた言語に従って各支部に配分し、各支部が査読委員を選出し、査読を行なったのちに、大会実行委員に送付する。

- ・ 日文原稿（日本語を母語とする者の原稿）⇒ 吉田
- ・ 韓文原稿（韓国語を母語とする者の原稿）⇒（韓国の責任者）⇒ 宮里
- ・ 中文原稿（中国語を母語とする者の原稿）⇒ 袁亚娟 ⇒ 川村
- ・ その他 ⇒ 必要に応じて担当者を設ける

6. 掲載可否決定・印刷原稿の提出

- (1) 受領した原稿について原則として各支部で査読し、掲載の可否を決定する。審査の結果により著者に修正を依頼する場合がある。
- (2) 査読通過後に完成した「印刷用完全原稿」のPDFは、**2024年7月5日までに吉田広に提出する**。
- (3) 校正はおこなわない。
※査読で訂正を要しない「査読用原稿のPDF」は、そのまま「印刷用原稿」として使用する。

7. 留意事項

- (1) 発表者のうち学会会員は1冊の概要集を受け取る。非会員の発表者には共同発表者であっても概要集が提供されないため、必要な場合は購入する。
- (2) 会員発表者（会員著者）は概要集を割引価格で購入することができる（※購入価格は下記参照）。
- (3) 原稿の内容に盗用、剽窃が判明した時点で、学会はその発表を取り下げる。

(※) 会員発表者概要集購入価格（会員著者への割引価格）

「計算単価：著者分価格÷著者分冊数計」に「200円」（学会収入分）を加えた金額を、発表者購入単価とする。購入可能な冊数上限は設けない。既発行の概要集単価を参考に、おおよその発表者購入単価を事前通知し、購入希望冊数の注文を受け付ける。

※複数の著者が希望した合計冊数の価格（印刷価格÷印刷総数×著者購入希望合計冊数）÷希望した合計冊数＝著者が希望した1冊の単価＋200円＝2018東京大会では400円、2019西安大会概要集を日本で印刷した単価に200円を加えて450円、2021高岡大会では457円、2022福岡大会では460円、2023年奈良大会では520円になっている。

会員著者が購入希望の注文で購入しない場合は、1冊1,000円になる。

以上

問い合わせ・提出先： 研究発表担当 吉田広
yoshida.hiroshi.mz@ehime-u.ac.jp